

池永輝之教授 略歴・著作目録

略 歴

- 1943年6月9日 東京都に生まれる。
- 1967年3月 立教大学経済学部経営学科卒業
- 1967年4月 立教大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1969年3月 立教大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1969年4月 立教大学大学院経済学研究科博士課程入学
- 1972年3月 立教大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1972年6月1日 岐阜経済大学経済学部専任講師
- 1978年4月 岐阜経済大学経済学部助教授
- 1982年12月 教務部長（～1984年11月）
- 1984年4月 岐阜経済大学経済学部教授
- 1993年2月 経済学部長（～1999年1月）
- 1999年2月 岐阜経済大学学長（～2003年1月）
- 2009年3月31日 岐阜経済大学経済学部定年退職
- 2009年4月1日 岐阜経済大学経済学部再任教授
- 2012年3月31日 岐阜経済大学経済学部再任教授退職
- 2012年4月1日 岐阜経済大学名誉教授

《担当科目》

経済原論Ⅱ（後にマクロ経済学）、経済学等

《所属学会》

日本経済学会、経済学史学会、経済統計学会、経済理論学会

《社会的活動》

岐阜地方労働審議会会長

岐阜県環境審議会会長

大垣市行政改革推進審議会会長

大垣市公営企業等審議会会長
大垣市地域福祉計画策定・評価委員会委員長
その他

著作目録 (抄録)

- 「E. ヘーゲンの戦後予測について」 経済統計研究会『統計学』第24号 1971年9月
「消費関数の安定性について」 『岐阜経済大学論集』第9巻第3・4号 1975年12月
「近代経済学批判における最近の動向について」
『岐阜経済大学論集』第16巻第3号 1982年9月
「経済学と数学利用」 『岐阜経済大学論集』第17巻第2号 1983年6月
「経済学における数学利用」
経済統計学会編『社会科学としての統計学』第2集, 産業統計研究社 1986年
「モデル分析の有効性について」 『岐阜経済大学論集』第21巻第3・4号 1988年3月
『グローバリズム時代の産業経済協力——アジア経済の再生と持続的発展に向けて——』
経済企画庁・(財)岐阜県産業経済センター 1999年12月
〈訳書〉 M. カッツ, G. C. ロタ, J. T. シュワルツ『数学者の断層』竹内茂, 池永輝之, 西澤康
夫, 廣田則夫共訳 森北出版株式会社, 1995年
〈書評〉「杉森滉一・木村和範編著『統計学の思想と方法』(北海道大学図書刊行会)」
経済統計学会『統計学』第81号 産業統計研究社 2001年9月